★ 各種相談窓口

●購入した製品などの具体的な使い方については取扱説明書などに記載されている連絡先へご連絡ください
　✓各製品の開発元/販売元
　✓電話番号　各製品の取扱説明書などに記載されています

●コンピュータウイルスに感染してしまったのではないかと思ったらこちらにご相談ください

　✓IPA(独立行政法人情報処理推進機構)　情報セキュリティ安心相談窓口
　✓電話番号　03-5978-7509(平日10:00～12:00　および13:30～17:00)

●広告や宣伝目的の迷惑メールに困っている時はこちらへご連絡ください
　✓財団法人日本データ通信協会　迷惑メール相談センター
　✓電話番号　03-5974-0068(平日10:00～17:00)

●犯罪に係る相談や情報提供を電話で受け付けています
　✓各都道府県警察のサイバー犯罪相談窓口
　✓電話番号　各都道府県警察にお問い合わせください

安全･快適にインターネットを利用するために

子供たちをネットのトラブルから守るため、情報セキュリティ対策以外にも、情報モラル、マナー等にも気を付けましょう！

例えば……

★　架空請求に気を付けましょう。
　→　**個人情報をむやみに公開しない。**
★　出会い系サイトに気を付けましょう。
　→　**知らない人からのメールは開かない。返信しない。**
★　他人を中傷する書き込みはやめましょう。
　→　**相手がどう思うか、相手の気持ちを考える。**
★　他人のプライバシーに配慮しましょう。
　→　**他人の写真をネット上に掲載するときは、必ず本人にひとこえ掛ける。**

国民を守る情報セキュリティサイト
http://www.nisc.go.jp/security-site/

インターネットを安全に利用するための

情報セキュリティ対策9か条

インターネットの利用は生活の幅を広げるだけでなく、災害発生時には自分の命を支える手段にもなります。情報セキュリティを正しく学ぶことで、安全・快適にインターネットを使いましょう。

★ インターネットの利用は、日常生活の幅や人との触れ合いを拡げることができます！

インターネットの利用は、自宅に居ながらにして欲しい情報を収集したり、人とコミュニケーションしたり、ネットショッピングをしたりすることが可能です。

★ 災害発生時には自分の命を支えてくれます！

先の震災の際には、停電などによりテレビが使えなかったり、電話の音声通話が混雑してつながらなかったりしても、インターネットを利用することで情報の収集ができた事例が多く報告されています。これにより、インターネットが避難場所の情報や支援物資の配給場所などの把握や、安否確認などのコミュニケーションツールとして有益であり、災害発生時に自分の命を支える手段になることが示されました。

このリーフレットでは、安全にインターネットを利用して便利な生活を送るための、最低限しておくべき９か条をまとめています。

９か条を実践して、便利で快適なインターネットライフを充実させましょう！

NISC 内閣官房情報セキュリティセンター National Information Security Center
警察庁 National Police Agency

インターネットを安全に利用するための
情報セキュリティ対策　9か条

1 OS（オーエス）やソフトウェアは常に最新の状態にしておこう

パソコンやスマートフォンのOSやソフトウェアは、新たにひろまるコンピュータウイルスの攻撃に対抗できるよう、頻繁に改良されています。

製造元から無料で配布される最新の改良プログラムを入手して、コンピュータウイルスの攻撃に対抗できる強い環境を手に入れましょう。

2 パスワードは貴重品のように管理しよう

パソコンやスマートフォンの起動画面にパスワードを設定しておくことは、自宅に鍵をかけるのと同じように大切なことです。

パスワードは他人に知られないようにする必要があります。メモに残さざるを得ない場合、人の目に触れない場所に保管しましょう。

3 身に覚えのない添付ファイルは 開かない

身に覚えのない電子メールには、コンピュータウイルスが潜んでいる可能性があります。

ウイルス感染を防ぐために、身に覚えのない電子メールに添付されたファイルを開いたり、URL（ユーアールエル）（リンク先）をクリックしたりしないようにしましょう。

4 ネットショッピングでは信頼できるお店を選ぼう

ネットショッピングでは、品物だけでなく、見たい映画や聴きたい音楽も購入することができます。

ネットショッピングをするときは、詐欺などの被害に遭わないように、信頼できるお店から買うようにしましょう。身近な人からお勧めのお店を教わるのも安心です。

5 困ったときはひとりで悩まず まず相談

インターネット利用に関する被害相談として、詐欺や架空請求の電子メールが届く、コンピュータウイルスにより開いているウェブページをどうしても閉じることができないというような相談が増えています。

このようなことに遭遇したら、一人で悩まず、内容に応じ各種相談窓口(背表紙参照)に相談しましょう。

6 外出先では 紛失・盗難に注意しよう

大切な情報を保存しているパソコン、スマートフォンなどを自宅の外に持ち出すときは、機器やファイルにパスワードを設定し、貴重品を扱うのと同様、なくしたり盗まれないように注意して持ち歩きましょう。

7 ログインID（アイディー）・パスワード絶対教えない用心深さ

金融機関を名乗り、銀行口座番号や暗証番号、ログインIDやパスワード、クレジットカード情報の入力を促すようなメールが届いた場合、教えてはいけません。

身に覚えのないメールは返信せずに無視するなど、教えないよう注意しましょう。

8 ウイルス対策ソフトを導入しよう

わたしたちの世界に風邪のウイルスがひろまっているように、コンピュータの世界にもコンピュータに悪さをするウイルスがひろまっています。

ウイルスに感染しないように、コンピュータにウイルス対策ソフトを導入しましょう。（ウイルス対策ソフトは家電量販店などで購入できます）

9 大切な情報は失う前に複製しよう

家族や友人と一緒に撮影した写真など、思い出がつまった情報は、パソコンの故障などにより失われてしまうと、取り返しがつきません。

大切な情報は、別のハードディスクなどに複製して、保管しておきましょう。